

募集強化期間に自衛官募集相談員・家族会員とともに自衛官募集を呼びかけ

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 野田3海佐）は、4月17日（水）、海老名駅前において、自衛官募集相談員2名及び自衛隊家族会海老名地区会員2名の協力を得て、市街地広報活動を展開した。

海老名駅はJR東日本・小田急電鉄・相模鉄道の3線が乗り入れることから、厚木募集案内所管内屈指の乗降客数を有するとともに、駅周辺にはショッピングモールが多数建ち並び、平日でも多くの人で賑わう大型駅であり、駅前は帰宅途中の高校生や買い物客で溢れかえっていた。

そのような中、自衛官募集相談員作成の募集ベストを纏った募集相談員や家族会員と制服姿の広報官が周囲の注目を集めながら一丸となって高校生等に自衛官募集を呼びかけると、準備した300枚の募集リーフレット及び募集広告の付いた迷彩柄ポケットティッシュは1時間足らずで配り終え、自衛隊をPRすることができた。

リーフレットを受け取った高校生からは「制服の自衛官の姿を初めて見たけどかっこいいー」「訓練が厳しそうですが、僕でも自衛官になれますか？」などと声を掛けられ、その場で広報官が丁寧に説明を実施する場面もあった。

市街地広報活動に参加した自衛官募集相談員の金子さんは「自衛官募集に少しでも協力できて私たちも嬉しい。今後も厚木募集案内所とは一体感を持って自衛官募集をPRしていきたい」と話してくれた。

厚木募集案内所は、「今後も、各協力団体の方たちと協力して、地域ぐるみで積極的に募集広報活動を行い、志願者の獲得に繋げていく」としている。



駅前で自衛官募集を呼びかける厚木募集案内所長 野田3海佐（中央）と自衛官募集相談員の方々

自治会長への募集対象者の情報提供依頼

自衛隊神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 信國2陸尉）は、平成31年4月25日（木）、山北町自治会長研修会に参加した。

本研修会は、山北町の自治会長の他、町長を含め行政関係者約20名との意見等を交換する場であり、小田原地域事務所も、警察、消防と同様に、本研修会に毎年参加させていた。例年、防衛省・自衛隊の活動に対するご理解、ご配慮に対するお礼並びに、募集対象者の情報提供について依頼をしている。

今回については、平成30年度に山北町で実施した募集・一般広報の状況及び山北町からの入隊者状況について説明するとともに、一般曹候補生、自衛官候補生の採用年齢引上げについて、周知した。また、リーフレットやチラシ等を配付し、自衛官募集についての情報発信を依頼した。

小田原地域事務所は、「平素から地域を大切にされた広報活動により、自衛官募集を浸透させていく」とコメントした。

